

# 野菜畑作生産情報 第6号（要約版）

平成28年9月20日  
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

◎小麦は適期は種で越冬前の生育を確保しましょう！  
◎台風や大雨に備え排水対策を徹底しましょう！

## ○大豆

- 1 草丈、主茎長は長く、稔実莢数は平年並みとなっている。
- 2 台風や大雨などでほ場に滞水しないよう、排水対策を徹底する。
- 3 汚粒の原因となる雑草や青立ち株を収穫前に抜き取るとともに、適期収穫に向けコンバインなどの準備を進める。

## ○小麦

- 1 紅色雪腐病の防除のため、薬剤による種子消毒を行う。
- 2 明きょや弾丸暗きょ、心土破碎などの排水対策を必ず実施する。
- 3 は種作業は9月25日頃までに終え、越冬前の生育量を確保する。

## ○ながいも

- 1 生育は平年を上回っている。
- 2 葉渋病、炭疽病、ナガイモコガの発生が見られる。
- 3 種いもほ場では、ウイルス病株の抜取りや媒介するアブラムシ類の防除を徹底する。
- 4 台風や大雨に備え、ネットや支柱の補強、明きょなどによる排水対策を徹底する。
- 5 大雨等で植溝が陥没した場合は、速やかに埋め戻す。

## ○にんにく（植付作業）

- 1 植付けは10月上旬までに行い、遅れないよう気象情報を参考に計画的に進める。
- 2 黒腐菌核病やチューリップサビダニ等の病害虫防除のため、必ず種子消毒を行い、被害種子は絶対に植付けしない。

## ○秋冬だいこん

- 1 は種後の大雨の影響により、生育が遅れている。
- 2 白さび病、キスジノミハムシ、アブラムシ類等の病害虫の早期発見・早期防除に努める。

## ○秋にんじん

- 1 生育は順調である。
- 2 黒葉枯病、ヨトウムシの早期発見・早期防除に努めるとともに、試し掘りを行い、適期に収穫する。

## ○夏秋トマト

- 1 4月下旬～5月上旬定植の作型では、9～10段果房の収穫期となっている。
- 2 高温や日照不足による落花、小玉化、裂果等により出荷量が減少している。
- 3 9月下旬以降は、裂果防止のため、かん水を控え、追肥は中止する。
- 4 葉かび病、灰色かび病、コナジラミ類等の病害虫の防除を徹底する。

---

### ◎日本一健康な土づくり強化月間（9月～11月）

安全・安心な農産物を安定して生産するためには、土づくりが重要です。堆肥の施用や土壌診断などにより、健康な土づくりに取り組みましょう。

---

### ◎秋の農作業安全運動展開中！（8月15日～10月31日）

- 1 高齢者の事故多発！農作業は、焦らず、急がず、慎重に！
  - 2 ほ場への出入りや傾斜地は要注意！機械の転倒・転落を防ごう！
  - 3 機械点検時にはエンジン停止！機械への巻き込まれに注意！
  - 4 高所作業では、周囲の状況を確認し、身体の安定を保とう！
- 

### ◎農薬は適正に使用しましょう。

- 1 農薬の飛散を防止する！
- 2 農薬は使い切り、河川等へ絶対捨てない！
- 3 農薬を使用する場合には、必ず最新の農薬登録内容を確認！

農薬情報 ([http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n\\_info/](http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/))

農薬登録情報検索システム (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp301.jsp>)

---

### ◎ほ場を見回るなど農作物の盗難防止に努めましょう。

---



報道機関用提供資料（連絡先）	
担当課	農産園芸課 野菜・畑作物振興グループ
担当者	井澤 主査
電話番号	直通 017-734-9481 内線 5079
報道監	農林水産部 津島 農商工連携推進監（次長） 内線 4966